

# 唐桑圏域河川整備計画(素案)概要版



## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 青野沢川：1,300m、只越川：580m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
唐桑圏域：約10年に一度程度の降雨

## 基本的な考え方

- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

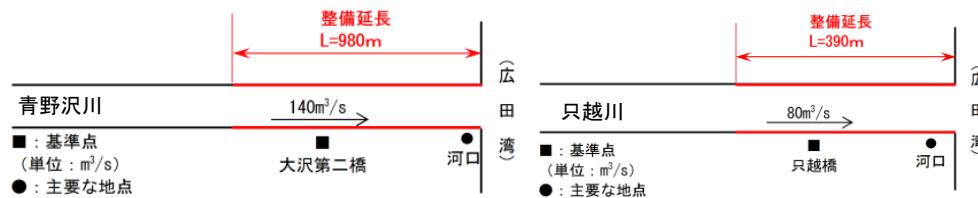
## 治水

### 【目標】

- ◆ 10年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、**気仙沼市の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの作成支援、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】

#### 流量配分図



#### 整備平面図



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全** 特に、震災後に確認されているスミウキゴリ等の魚類へは**多様な空隙や河川の縦横断方向の連続性確保**、ナガミノツルキケマン等の植物へは**湿地草地環境の保全**、ガムシ等の昆虫へは**水際の微地形保全**に努める。
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映** (必要に応じて計画にフィードバック)
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民 (スマイルリバー・プログラム) が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



## 利水

### 【目標】

- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持に向け、**10年に1回の濁水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ **10年に1回程度の濁水においても、河川環境の保全、清潔の保持が可能となるよう、調査・検討を実施**
- ◆ 濁水時は情報提供及び関係機関と連携した**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による**予防保全**を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、**協働を進め、地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 大川水系河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 大川：23,890m、神山川：6,900m、松川：4,900m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
大川水系：昭和61年8月洪水規模（約50年に一度程度の降雨≒179mm/日）

## 基本的な考え方

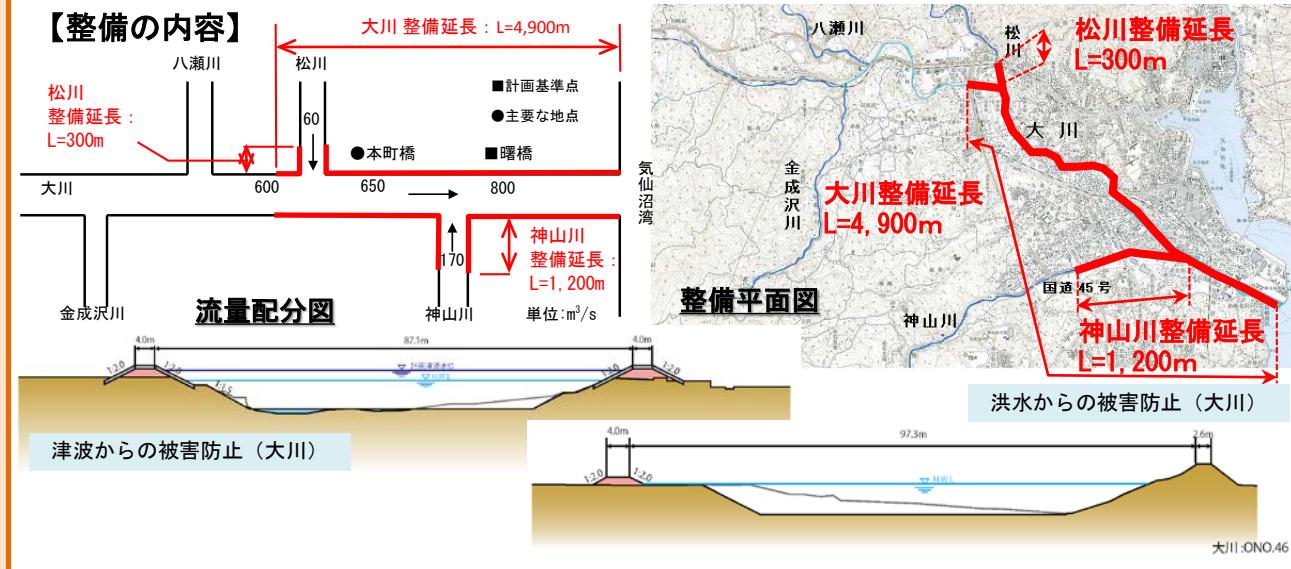
- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生防止の防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 治水

### 【目標】

- ◆ 戦後最大の洪水である昭和61年8月洪水と同規模洪水に対する**重大な浸水被害の防止**
- ◆ **住民の生命を守ることを最優先とし、気仙沼市の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの活用、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全**  
特に、震災後に確認されているニホンウナギ、キンブナ、スミウキゴリ等魚類（重要種）に対しては、**多様な間隙や瀬淵の形成、河川縦横断の連続性を確保**
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映**  
（必要に応じて計画にフィードバック）
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【ニホンウナギ】  
環境省：EN（滅危惧ⅠB類）  
宮城県：NT（準絶滅危惧）

## 利水

### 【目標】

- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の安定確保に向け、**10年に1回程度の渇水に対応可能な水量確保**
- ◆ **水質、水位や流量等のデータ蓄積の推進**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 本町橋地点における流水の正常な機能を維持するため、動植物の保護、漁業及び利水の現況等を考慮し、**概ね0.7m<sup>3</sup>/sを確保**
- ◆ **上水道用水**（約0.289m<sup>3</sup>/s～約0.325m<sup>3</sup>/s）及び**工業用水**（約0.042m<sup>3</sup>/s）の**安定確保**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による予防保全を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、**協働を進め、地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 鹿折川水系河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 鹿折川：7,900m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
鹿折川水系：約30年に一度程度の降雨

## 基本的な考え方

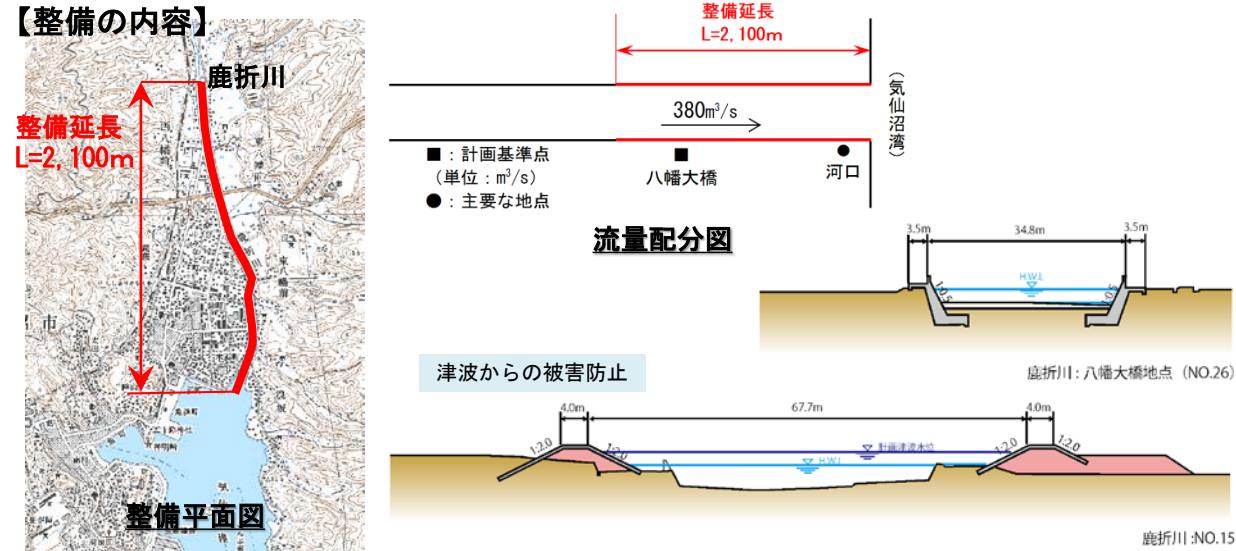
- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 治水

### 【目標】

- ◆ 30年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、**気仙沼市の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの活用、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全**

特に、震災後に確認されているニホンウナギ、キンブナ、スミウキゴリ等魚類（重要種）に対しては、**多様な間隙や瀬淵の形成、河川縦横断の連続性を確保**

- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映**  
(必要に応じて計画にフィードバック)

- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**

- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【ニホンウナギ】

環境省：EN（減危惧 I B類）  
宮城県：NT（準絶滅危惧）

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握**
- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の水利用に向け、**10年に1回の渇水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ **10年に1回程度の渇水においても、河川環境の保全、清潔の保持及び農業用水の安定利用が可能となるよう、調査・検討を実施**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による予防保全を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、協働を進め、**地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 気仙沼圏域河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 面瀬川：8,750m  
沖ノ田川：2,800m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
気仙沼圏域：約10年に一度程度の降雨

## 基本的な考え方

- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生防止の防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

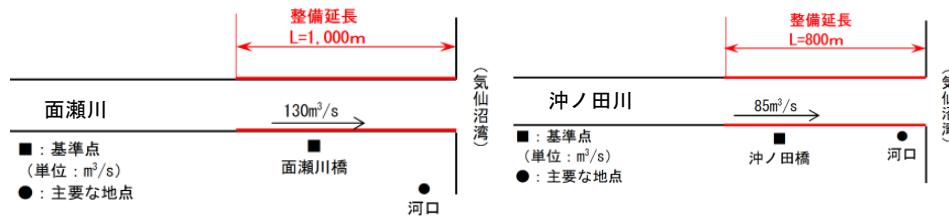
## 治水

### 【目標】

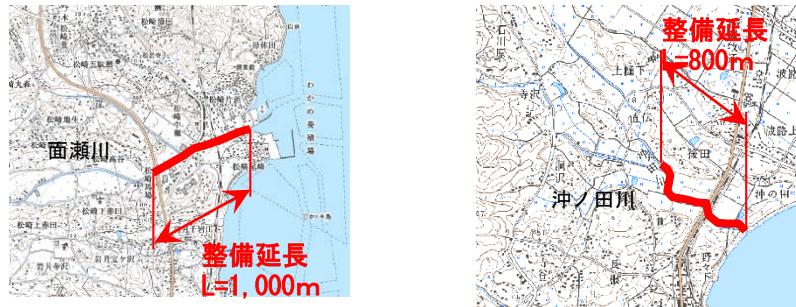
- ◆ 10年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、**気仙沼市の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの作成支援、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】

#### 流量配分図



#### 整備平面図



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

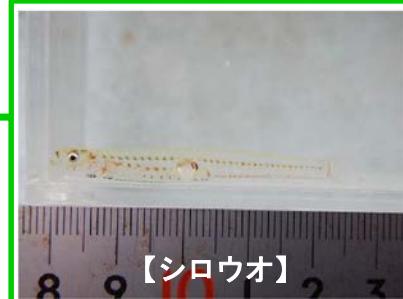
### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全** 特に、震災後に確認されているシロウオ等の魚類へは**多様な空隙や河川の縦横断方向の連続性確保**、サナギイチゴ等の植物へは**林床や林縁の保全**、マダラケシミズギワゴミムシ等の昆虫へは**水際の微地形保全**に努める。
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映** (必要に応じて計画にフィードバック)
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民 (スマイルリバー・プログラム) が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【シロウオ】

環境省：VU (絶滅危惧Ⅱ類)  
宮城県：VU (絶滅危惧Ⅱ類)

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握**
- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の水利用に向け、**10年に1回の渇水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ **10年に1回程度の渇水においても、河川環境の保全、清潔の保持及び農業用水の安定利用が可能となるよう、調査・検討を実施**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による予防保全を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、**協働を進め、地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 津谷川水系河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 津谷川：16,400m、外尾川：1,500m、馬籠川：8,000m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
津谷川水系：約30年に一度程度の降雨

## 基本的な考え方

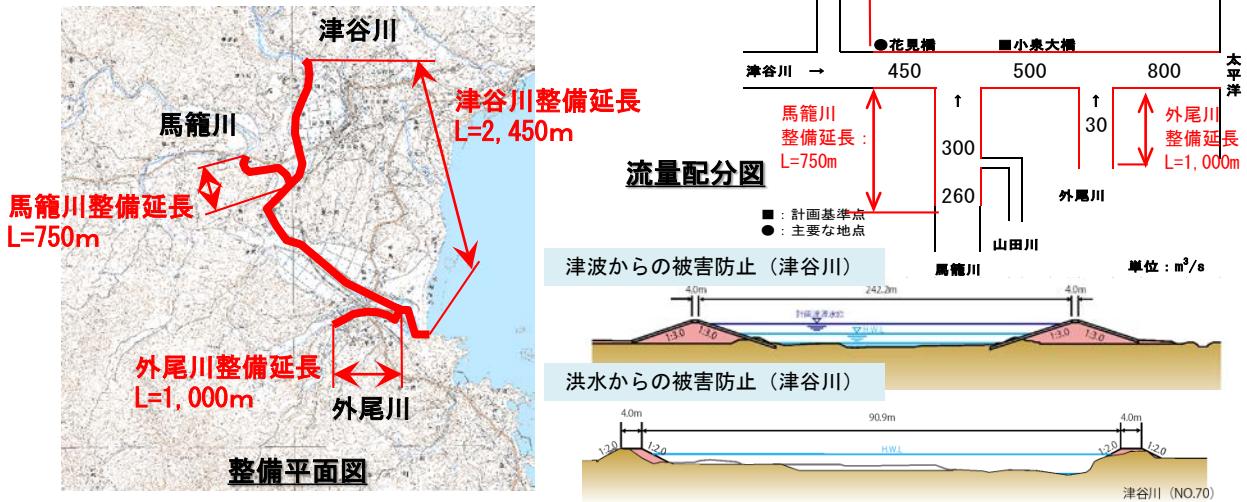
- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生の防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 治水

### 【目標】

- ◆ 30年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、**気仙沼市の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの活用、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全**  
特に、震災後に確認されているシロウオ、スミウキゴリ、ウツセミカジカの回遊環境に配慮し、**河川の縦横断方向の連続性の確保**
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映**  
(必要に応じて計画にフィードバック)
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【ウツセミカジカ】

環境省：EN（滅危惧Ⅰ類）  
宮城県：VU（絶滅危惧Ⅱ類）

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握**
- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の水利用に向け、**10年に1回の渇水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ **10年に1回程度の渇水においても、河川環境の保全、清潔の保持及び農業用水の安定利用が可能となるよう、調査・検討を実施**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による予防保全を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、協働を進め、**地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 伊里前川水系河川整備計画（素案）概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 伊里前川：7,800m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度  
伊里前川水系：約50年に一度程度の降雨

## 治水

### 【目標】

- ◆ **50年に一度程度の降雨**が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ **住民の生命を守ることを最優先**とし、**南三陸町の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**想定宮城県沖地震に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの作成支援、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



流量配分図



整備平面図

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握**
- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の水利用に向け、**10年に1回の渇水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 中在橋地点における流水の正常な機能を維持するため、動植物の保護、漁業及び利水の現況等を考慮し、**概ね0.08m³/sを確保**
- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 基本的な考え方

- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

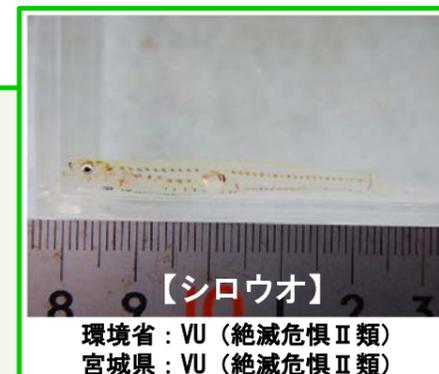
### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全**特に、震災後に確認されているウツセミカジカやシロウオ、スミウキゴリの重要種へは、**瀬淵の形成や河川の縦横断方向の連続性の確保**
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映**（必要に応じて計画にフィードバック）
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【シロウオ】

環境省：VU（絶滅危惧Ⅱ類）  
宮城県：VU（絶滅危惧Ⅱ類）

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による**予防保全**を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、協働を進め、**地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 志津川圏域河川整備計画（素案）概要版

## 計画の目標

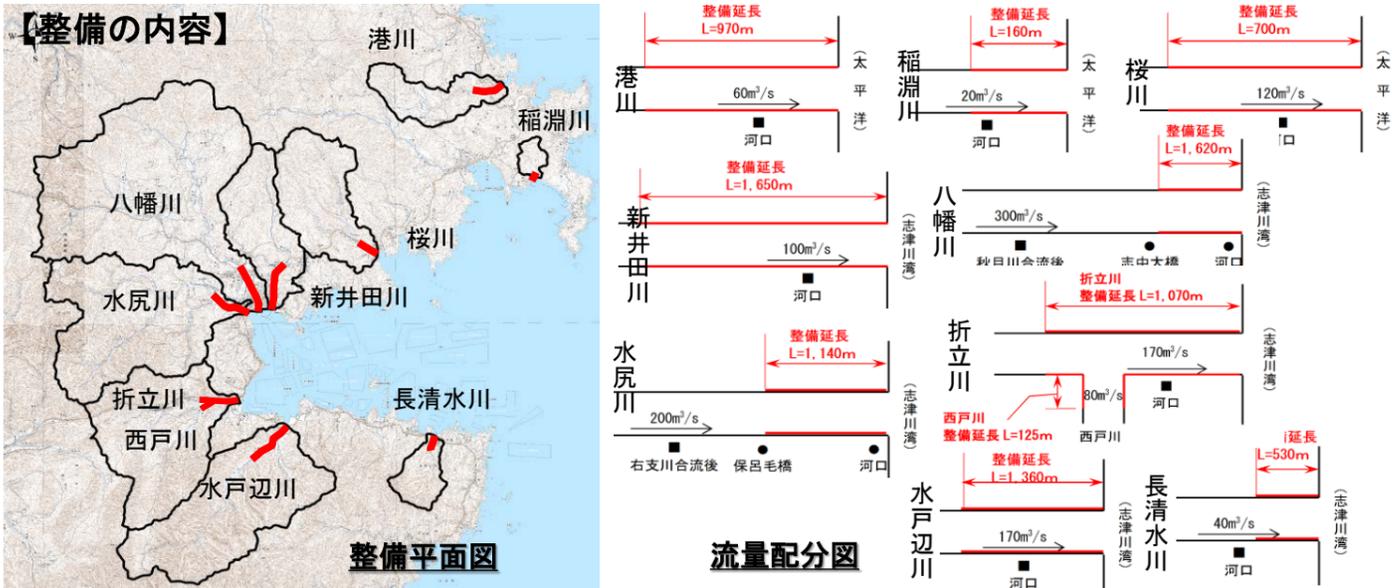
- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 港川：2,500m、稲淵川：200m、桜川：2,185m、新井田川：2,100m、八幡川：5,500m、水尻川：3,400m、折立川：2,800m、西戸川：1,700m、水戸辺川：3,124m、長清水川：1,324m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度 志津川圏域：約10年に一度程度の降雨

## 治水

### 【目標】

- ◆ **10年に一度程度の降雨**が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ **住民の生命を守ることを最優先**とし、**南三陸町の震災復興計画と整合**を図り、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**想定宮城県沖地震に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの作成支援、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



## 基本的な考え方

- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生の防止・軽減に寄与する河川整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校の社会学習等と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

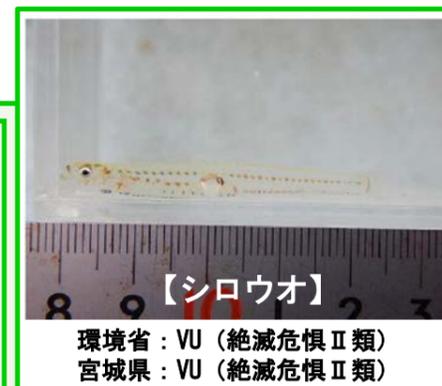
### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息環境の保全】

- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価**し、**動植物の生息・生育・繁殖環境を保全** 特に、震災後に確認されているシロウオ等の魚類へは**多様な空隙や河川の縦横断方向の連続性確保**、タコノアシ等の植物へは**海岸草地や水位変動を受ける水際の生息環境の保全**、ゴミムシ類等の昆虫へは**水際の微地形保全及び創出**
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映** (必要に応じて計画にフィードバック)
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 自然観察会や一斉清掃、**環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



【シロウオ】

環境省：VU（絶滅危惧Ⅱ類）  
宮城県：VU（絶滅危惧Ⅱ類）

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握**
- ◆ 動植物の保護、流水の清潔の保持及び農業用水の水利用に向け、**10年に1回の渇水に対応可能な水量確保**に向け、**データ蓄積と調査検討の実施**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ **10年に1回程度の渇水においても、河川環境の保全、清潔の保持及び農業用水の安定利用が可能となるよう、調査・検討を実施**
- ◆ 渇水時は情報提供及び大川水系渇水情報連絡会や気仙沼市水道渇水対策本部等の関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図り、**流水の正常な機能を維持**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による**予防保全**を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、協働を進め、**地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置するなど不法投棄対策の実施**

# 雄勝・牡鹿・女川圏域河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 相川沢川：1,350m、大原川：3,200m、女川：2,500m  
淀川：1,650m、湊川：3,000m
- ◆ 目標とする洪水の治水安全度 約10年に一度程度の降雨

## 基本的な考え方

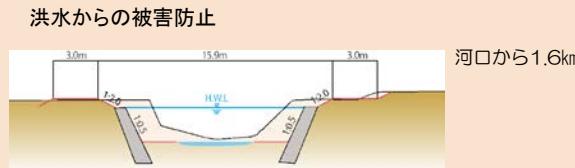
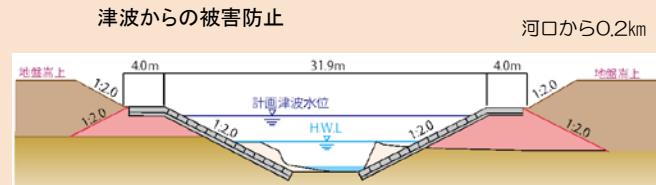
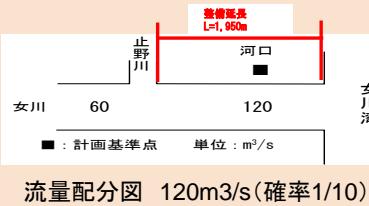
- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生の防止・軽減に寄与する整備を図り貴重な生命・財産を守る
- 【利水】水利用者等が連携し、流水の正常な機能の維持
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上した機能の維持

## 治水

### 【目標】

- ◆ 10年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、石巻市・女川町の震災復興計画と**整合を図り**、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模やチリ地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの活用、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容(例：女川)】



整備箇所図



## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校と連携を図りながら**適正な利活用の促進**

### 【整備の内容】

- 【動植物の生育・生息環境の保全】
- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価し、動植物の生息・生育・繁殖環境を保全** 特に、震災後に確認されているルリヨシノボリ等の魚類へは**多様な空隙や河川の縦横断方向の連続性を確保**、ゴミムシ類等の昆虫へは**水際の微地形保全及び創出**
- ◆ **専門家のアドバイスや地域住民意見の反映**
- ◆ **経年変化を捉え、継続的な環境モニタリング調査実施**



【ルリヨシノボリ】  
宮城県：VU(絶滅危惧Ⅱ類)

### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 環境学習、レクリエーションの場の**利活用の促進**、河川愛護や河川美化の**活動支援及び普及**
- ◆ 行政と地域住民が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**



河川愛護活動(女川)

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川が有する多面的機能や河川整備により向上された機能を十分に発揮させる**適切な維持管理**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による**予防保全**を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、**協働を進め、地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施**し、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な施設管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ**通報**や必要に応じて**看板を設置**するなど**不法投棄対策の実施**



パトロール状況(大原川)

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握及び水質、水位や流量等のデータ蓄積の推進**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ 渇水時は情報提供及び関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図りながら、**流水の正常な機能を維持**

# 定川水系河川整備計画(素案)概要版

## 計画の目標

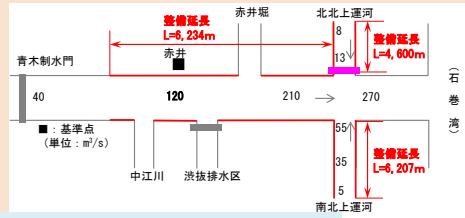
- ◆ 計画対象期間 今後30年間
- ◆ 計画対象区間 定川：17,781m、南北上運河：2,300m、北北上運河：5,953m
- ◆ 目標治水安全度 約50年に一度程度の降雨

## 治水

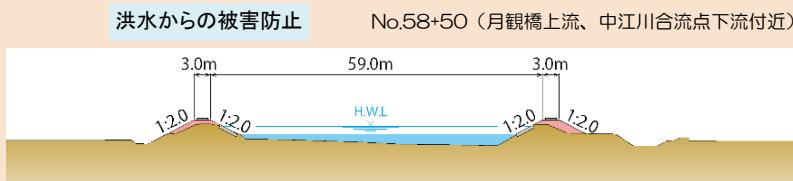
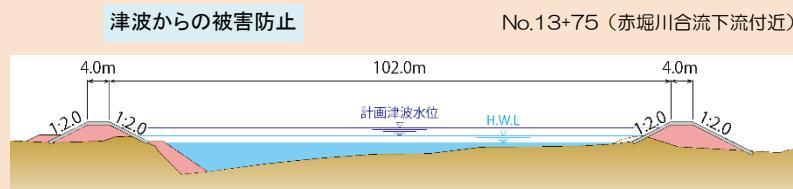
### 【目標】

- ◆ 50年に一度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対する**浸水防止**
- ◆ 住民の生命を守ることを最優先とし、**石巻市、東松島市の震災復興計画と整合を図り**、津波や高潮からの被害防止・軽減を目的とした河口部における**明治三陸地震規模やチリ地震規模に対応した高さでの堤防整備**
- ◆ 超過洪水発生に備え、河川管理施設の適正な維持管理と**ハザードマップの作成支援、防災情報の提供、防災教育・訓練等の支援**を行い、ソフト対策を推進し、**地域の危機管理体制を強化**

### 【整備の内容】



### 【定川】



## 基本的な考え方

- 【治水】洪水や津波・高潮災害発生の防止・軽減に寄与する整備を図り、**貴重な生命・財産を守る**
- 【利水】水利用者等が連携し、**流水の正常な機能の維持**
- 【環境】動植物等の良好な生息・生育・繁殖環境の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、**河川が有する多面的機能及び整備により向上した機能の維持**

## 環境

### 【目標】

- ◆ 動植物の生息・生育・繁殖環境への配慮、構造物における**縦横断方向の連続性確保**による**多様な生態系の維持・保全**
- ◆ **良好な河川の水質の保全**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習としての場の活用等が可能となるように地域住民や関係機関、小中学校と連携を図りながら**適正な利活用の促進**



【コガムシ】  
環境省：DD（情報不足）

### 【整備の内容】

- 【動植物の生育・生息・繁殖環境の保全】
- ◆ 河川工事実施においては、**治水・利水・環境の面から評価**し、**動植物の生息・生育・繁殖環境を保全**、特に震災後に確認されているニホンウナギ等の魚類へは多様な空隙微地形の形成等、コガムシ等の昆虫へは水際の微地形保全に努める。
- ◆ **環境アドバイザー制度の活用や地域住民意見の反映**
- ◆ 経年変化を捉え、**継続的な環境モニタリング調査の実施**

### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ **環境学習**としての場の活用等、流域住民や関係機関、**小中学校との協働**を通じて、住民参加により**地域から愛され親しまれる川づくり**
- ◆ 行政と地域住民（スマイルリバー・プログラム）が協働し、**住民参加による地域から親しまれる川づくり**

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 河川構造物は、定期的な点検や計画的な整備による**予防保全**を行い、施設の**長寿命化計画の策定及び実施**
- ◆ 河川管理者や地域住民の他、河川に関わる団体等、多様なパートナーシップを構築し、**協働を進め、地域がふれあえる場の保持**

### 【整備の内容】



啓発看板（定川）

- ◆ **定期的に河川巡視・点検を実施し**、河道及び河川管理施設の**状況を把握**
- ◆ 既設河川構造物は、機能を維持・確保する目的で「**長寿命化計画**」を策定し、**ライフサイクルコストの縮減を含めた効率的な維持管理**
- ◆ 堆積土砂や繁茂した樹木が著しく流水の阻害となる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響等に配慮の上、**計画的に除去及び伐採**
- ◆ 河川パトロールや住民からの通報の活用等により、**河川空間の状況を把握**し、悪質な行為に対して関係機関へ通報や必要に応じて**看板を設置**するなど**不法投棄対策の実施**

## 利水

### 【目標】

- ◆ 農業用水の用排水系統をはじめ、**水利用の実態把握及び水質、水位や流量等のデータ蓄積の推進**
- ◆ 水利流量等に不足が生じるおそれがある場合は、被害を最小限に抑えるために**必要な情報提供**の他、**関係機関と連携した適切な管理の推進**

### 【整備の内容】

- ◆ 農業用水の用排水系統及び**水利用の実態把握**
- ◆ 水質、水位や流量などの**データの蓄積**
- ◆ 渇水時は情報提供及び関係機関と連携して、**合理的な水利用及び河川環境の保全**を図りながら、**流水の正常な機能を維持**

# 坂元川水系河川整備計画（素案）概要版

## 計画の目標

- 計画対象期間 今後30年間
- 計画対象区間 坂元川(6.56km), 戸花川(5.40km)
- 目標とする洪水の治水安全度 20年に一度程度の降雨(計画日雨量65.3mm) 昭和61年8月の台風10号による降雨と同規模

## 基本的な考え方

- 【治水】洪水から貴重な生命・財産を守り安全で安心できる地域づくり 津波や高潮被害を最小限にするための目標を定め計画的な対策を実施
- 【利水】水利用者等と連携を図り、流水の正常な機能の保持
- 【環境】多様な動植物が生息、生育、繁殖する潤いとやすらぎのある豊かな水辺の保全
- 【維持管理】地域住民や関係機関との連携を図り、河川が有する多面的機能及び整備により向上される機能の維持

## 治水

### 【目標】

- ◆ 20年に一度程度の降雨が発生した場合(65.3mm/hr)に想定される洪水に対する**浸水防止**(S61.8洪水, H18.9洪水などに対応)
- ◆ **超過洪水**が発生した場合でも**避難による人命保護を最優先に危機管理体制の強化, 地域防災力の強化**
- ◆ 高潮・津波からの被害の防止, 軽減を図るため, **河口部では高潮・津波被害に対応し, 堤防の高さをT.P.+7.2mに設定**
- ◆ **山元町と連携した内水対策**の検討
- ◆ 避難等の円滑で効率的な実施に向けた**河川情報の提供と地域との情報の共有化**
- ◆ 住民の**マップ活用促進**や**住民による地区防災マップ作り**の支援
- ◆ 地域住民の防災意識の高揚、防災力の向上に向けた**訓練や防災教育への支援**

### 【整備の内容】

## 環境

### 【目標】

- ◆ **動植物の重要な生息・生育・繁殖環境となっている現在のみお筋や瀬・淵, 河畔林などを極力保全**
- ◆ 水質については, 河川の利用状況などを考慮し, 関連事業や関係機関, 地域住民との連携を図りながら維持
- ◆ **新市街地の都市景観や田園景観と調和した水辺景観の維持**
- ◆ 自然とのふれあい、環境学習、レクリエーション等が可能となるよう、親水性のある川づくりや利活用方策を検討

### 【整備の内容】

#### 【動植物の生育・生息環境の保全】

- ◆ 河道掘削等の河川工事の実施にあたっては、**多自然工法などにより、可能な限り動植物の生息・生育環境の保全に配慮**
- ・自然材料を用いた河川整備
- ・低々水路を設け一様とならないような河道整備
- ◆ **災害復旧区間については、施工計画時、工事実施時、完了時の各段階で環境アドバイザー制度を活用しながら自然環境と共存した復旧工事を行うとともに早期に復興を推進**
- ◆ **ホトケドジョウに配慮した河道断面積の確保**

#### 【水質の保全】

- ◆ 山元町で実施している水質調査を**継続的にモニタリングし、水質の変動を把握**
- ◆ 河川改修実施時は、下流河川に濁水等の影響が生じないように十分に配慮

#### 【人と河川のふれあいの場の確保】

- ◆ 人々が水辺に近づき利用できるように**親水性に配慮**
- ◆ 散策路の整備や在来樹木の生育環境の保全などにより、一層の利活用の促進

## 維持管理

### 【目標】

- ◆ 河道、堤防などの河川管理施設が、本来の機能を発揮できるよう**適正な維持管理や機能保持**
- ◆ 堆積土砂撤去、支障木伐採については、**河積阻害率20%以下となるよう適切に実施し、治水安全度を保持**

### 【整備の内容】

#### 【堤防・河道の維持管理】

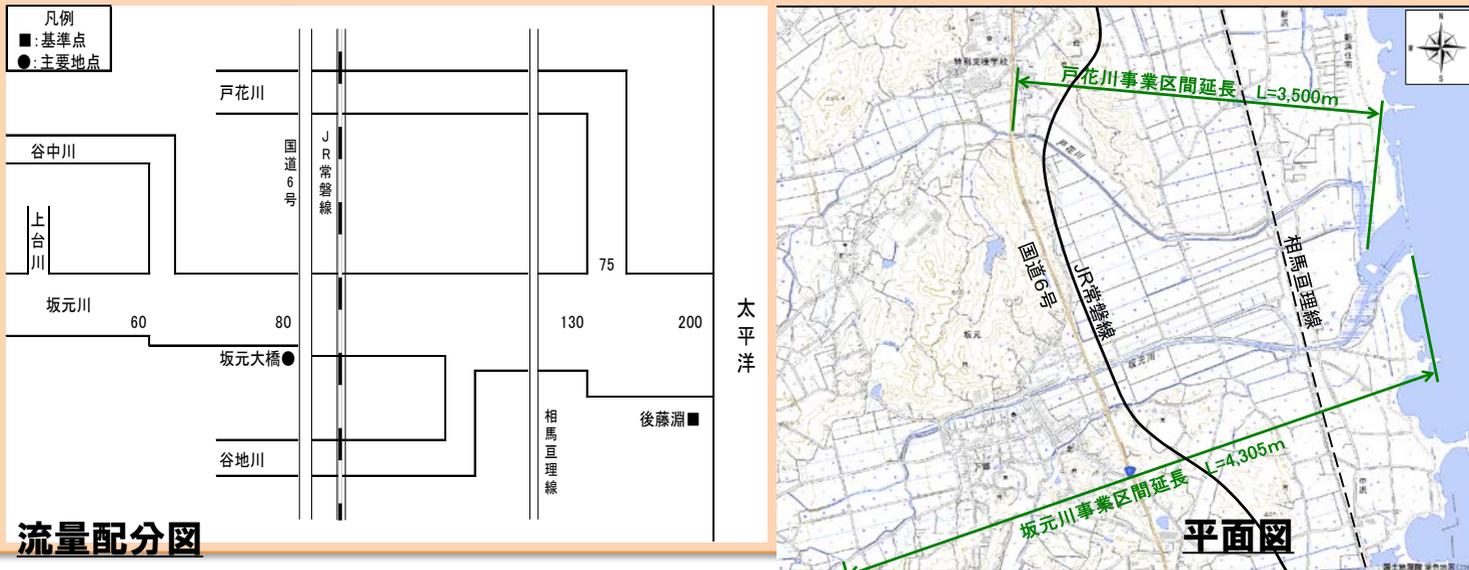
- ◆ 河川巡視により、亀裂や洗掘などの**異常箇所の早期発見・補修**を実施
- ◆ 「河川維持管理計画(案)(H19.4)」に基づき、**除草、支障木伐採及び堆積土砂**などの実施

#### 【河川管理施設の維持管理】

- ◆ **定期的な点検、変状箇所に対する補修**を実施
- ◆ 施設の健全度等を把握して**維持・修繕・改築・更新を的確に実施する長寿命化計画を作成し、予防保全型維持管理を導入した効率的な維持管理**



支障木の様子



## 利水

### 【目標】

- ◆ 限りある水資源の有効利用を図るため、水利用の合理化を進め、より適切な水利用
- ◆ 動植物の保護、景観、流水の清潔の保持及び農業用水の安定供給に配慮しながら、流水の正常な機能を維持するために**10年に一度程度の渇水時においても対応可能な水量の確保**に向けて、調査・検討を実施

### 【整備の内容】

- ◆ 坂元川、戸花川は、引き続き**水量・水質及び農業用水等の水利用状況の把握、データの蓄積に努める**とともに、必要性・緊急性に応じて正常な機能の維持に必要な流量を検討する
- ◆ 限りある水資源の有効利用を図るために水利用状況の把握を行い、必要に応じて水利用の合理化を進め、より適切な水利用を図る